

### 1) 金属床義歯の利点と欠点

石黒 照幸

天然歯牙を保存することは、患者さんにとって最も望ましい治療法です。しかし、抜歯を余儀なくされ、義歯を装着しなければならない患者さんも多くいらっしゃいます。

患者さんにとっては違和感だけでなく、入れ歯を使用せねばならないという精神的なショックもあることを我々は知らねばなりません。できれば、少しでも快適で咀嚼効率もよく、見た目も良い義歯を作成するように努力しないとなりません。そのような中で義歯の材料に金属を使用することで、従来のレジン材料義歯よりもよい物にすることが出来ます。金属床義歯の利点としては次のようなものがあります。

粘膜接触部の面積を減じることでき違和感を軽減できる。下顎においては舌の接触違和感も改善できる。金属であるため食べ物の熱を伝えやすく食べ物の暖かさや冷たさを感じることが出来る。破折を生じにくい。

今回、義歯の作成手順を説明するとともに、金属材料を使用することで得られる利点と欠点について発表します。

### 2) 矯正治療における各種材料の特徴とその分類

長濱 香織

矯正治療は、見た目の歯並びを改善する治療としてよく知られていますが、歯周病治療としての必要性はあまり知られていません。

歯周病は患者さんの清掃性を高めることが治療の基本ですから清掃を妨げる要因を除去せねばなりません。清掃器具が届きにくくなる原因は次のようなものが考えられます。深い歯周ポケット、清掃器具が入りにくい、またはプラークの付着しやすい補綴物、清掃器具が届かない歯列不正、乱杭歯などの歯列不正は歯周病の原因となります。

見た目を改善するだけの矯正治療の場合は、健康な歯が多いですが、歯周治療を目的とした矯正の場合は、骨の吸収した歯や動揺している歯が多いのです。そのような歯への矯正治療は、その方法や材料において特に注意が必要です。

汚れが付着しにくい材質で清掃しやすい形態のものを使用し、歯周治療の妨げになりにくい装置を選択する必要があります。

ライトフォーステクニックやストレートワイヤーテクニックを使用することで、歯周組織に害の少ない矯正治療が可能であります。

今回はそれらの材料と方法について基本的な事柄を中心に発表します。

### 3) 産業歯科保健における歯と口の健康について

田中 明美

(H18年8月産業保健推進センターでの講演から)

大阪産業保健推進センターにて府下の事業場の事業主、管理者、衛生管理者、看護師さん達を対象とした歯と口の健康管理について講演しました。

講演では、歯肉や頬粘膜、舌に見られる腫瘍や炎症病変について写真を見ながら説明し、煙草の口腔内への影響などについても話しました。

参加者の多くは看護師さんで、事業場での口腔内の健康について強い興味を持たれていました。現場では歯の脱落事故なども多く、事故後の対処方法なども熱心に聞かれて

いました。また、健診で顎関節症と診断された方は、何処へ受診すればいいのか、また受診先のリストなどについても質問を受けました。

私は、口腔内の清掃における注意点とポイントの部分で講演しましたが、清掃の手順や使用材料などについて講演しました。

職場にはさまざまな年齢の方がいらっしゃいます。それらの方々の健康管理を担っておられる看護師さん達の口腔衛生についての関心と熱意を強く感じた講演でした。